

クラブ訪問① 藤クラブ

土用丑の日一暑い昼下がり・・・

広報部 杉山芳子

体育館からパンポンと音が聞こえて来ました。
きょうは藤クラブの練習日。開校120数年も経った歴史ある江古田小学校。
娘がこの学校を卒業した懐かしさもあってやってきました。

明るく綺麗にリニューアルされた体育館、
コートは1面、中野のパドルの精鋭16名
が汗を流しているのを見た時その熱気に
圧倒されました。
関東大会も間近に迫っているのでクラブ
員の他、ビジターの方たちも大勢参加さ
れていました。



ゲームが終わって息のあがったオジ様。
「やはり若い人にはかなわないよ！」と苦笑い、いやいやそんなことはありませんよ、
気合の入ったプレーと、衰えを見せないベテランの技はまだまだ健在でしたよ、
さすがだなと感心しました。



思い思いにお弁当を食べたり、おしゃべりを
したり終始なごやかな雰囲気練習してい
ました。



おやつに冷たい水ようかんをいただき、ホットして取材終了。
この後、6時まで練習が続くとか、暑い中お疲れさま。
でも楽しい楽しいアフターパドルが待っているんでしょね。

.....

(番外編)

その後、藤クラブの代表である高島和男さんにインタビューしました。
現在、クラブの正規メンバーは10名。ただ、「開放的なクラブ」がモットー
のようで、誰でもうまくなりたいた人は大歓迎ということです。
コートは一面しかありませんが、「沢山人数が集まればそれなりの楽しみ方
があるので、遠慮せずどんどん来て下さいよ！時間はたっぷりあるから。」と、
さすが伝統あるクラブだけに太っ腹です。それもそのはず、歴史のある藤クラブ
は「今、連盟顧問の山本さんの時代から引き継いだもの。沢山の新人を育てた
藤クラブの伝統は大切に守って生きたい。」とのことでした。(TAKE)